

NW7CheckDigit 操作説明書

1. はじめに

このたびは、「NW7CheckDigit」をダウンロードしていただき、誠にありがとうございます。

「NW7CheckDigit」は、一次元バーコード「NW7」のチェックデジット計算方法が多種あることから、なるべく多くのチェックデジットの計算処理が行え、かつデータに付加できることを考えたプログラムです。

あくまでも数値計算を行い、結果をデータに付加するものであり、バーコード自体を作成表示するものではありません。バーコードを表示するには、別途、バーコード用のフォントを用意していただく必要があります。

2. インストールおよびアンインストール

インストールは、「NW7CheckDigit.exe」を適宜、ご使用のコンピュータのハードディスクに移動していただくだけで構いません。本プログラムは、レジストリーへの登録を行いません。

アンインストールは、「NW7CheckDigit.exe」をゴミ箱に移動していただくだけで構いません。

3. 動作環境

本プログラムは、VisualStudio2019にて、.NET4.8をターゲットにして、C#にて開発しております。

従いまして、動作環境としては、.NET4.8が動作している**64ビット Windows OS**となります。

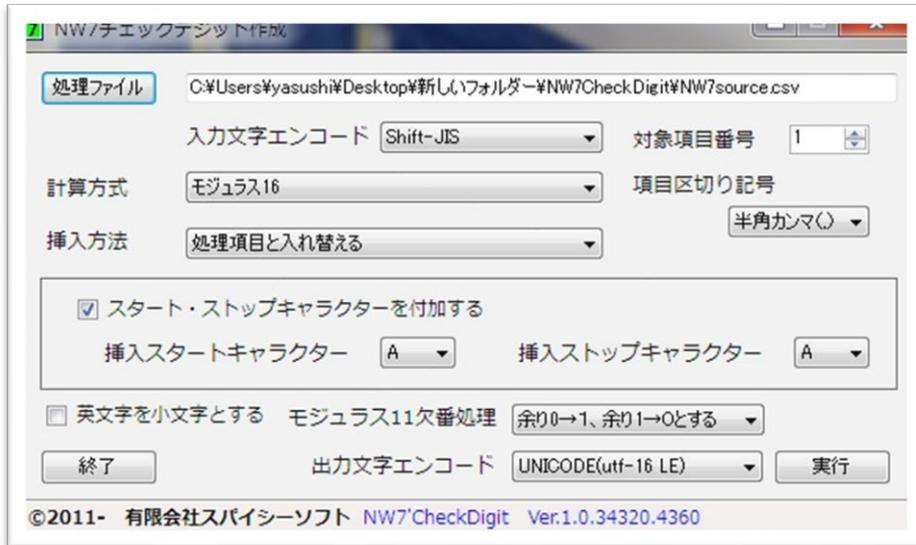
ちなみに、Windows10にての動作確認をしております。

処理結果をバーコード表示に使用するためには、NW7用のバーコードフォントが必要となります。

4. 操作方法

① プログラムの起動

[NW7CheckDigit.exe]を起動すると、次のような画面が表示されます。



処理に必要な項目を画面上の設定項目にて、設定していきます。

② 処理ファイルの選択

「処理ファイル」ボタンをクリックし、ファイルを選択します。

- 処理可能なファイル形式は、CSV ファイルまたはタブ区切りファイルとなります。
- 「入力文字エンコード」コンボボックスにて、処理ファイルの文字エンコードを指定します。「Shift-JIS, UNICODE, UTF-8」から選択します。

③ 処理方法の設定

実際の処理をする際の、各種の設定を行います。

- 「対象個目番号」
処理ファイルは、カンマあるいはタブにて項目が複数に分かれているので、その項目の中から、チェックデジットを計算する対象個目の番号を、先頭項目を1番としてカウントし、その項目番号を指定します。
- 「項目区切り記号」
処理データの項目を区切る文字が、「カンマ」なのか「タブ」なのかを指定します。
1項目しかない場合には、どちらでも構いませんが、後に説明するように、処理結果を、処理対象項目と置き換えずに、追加する方法を選択した場合に、項目を区切る文字として用いますので、注意してください。

● 「計算方式」

チェックデジットの計算方式を、コンボボックスより選択します。
選択可能な計算方式は、以下の 14 種類です。

- ・モジュラス 16
- ・モジュラス 10 ウェイト 2-1 分割 (ルーンズ)
- ・モジュラス 10 ウェイト 2-1 一括
- ・モジュラス 10 ウェイト 2-1
- ・加重モジュラス 11
- ・加重モジュラス 11 (循環)
- ・モジュラス 11 ウェイト 2-7
- ・モジュラス 11 ウェイト 2-7 (循環)
- ・モジュラス 11 ウェイト 1-0
- ・モジュラス 11 ウェイト 2-0
- ・セブンチェック (7DR)
- ・セブンチェック (7DSR)
- ・ナインチェック (9DR)
- ・ナインチェック (9DSR)

このうち、「加重モジュラス 11」と「加重モジュラス 11 (循環)」の違いは、前者が 12 桁までの数値に対して限定的に使用するのに対し、後者は、12 桁を超えた数値列も対象にするという点に違いがあります。

同様に、「モジュラス 11 ウェイト 2-7」と「モジュラス 11 ウェイト 2-7 (循環)」との違いは、前者が 6 桁固定の数値を対象としているのに対し、後者が、6 桁以上の数値を対象としているという点にあります。

これらの違いは、チェックデジット計算方式の考え方が異なる場合があるためであり、両方の考え方の計算方式を選択できるようにしています。

● 「モジュラス 11 欠番処理」

モジュラス 11 は、基本的に、処理対象数値列を特定の方法で加算し、11 で割った余りを 11 から引くという方法で目的とする数字 1 文字を得る方法ですが、この場合、結果が、11/10 という 2 桁になる場合が生じてしまいます。

この、いわゆる欠番処理方法として、両者とも「0」にするか、1 桁目の値をとる方式にするかを設定します。

④ 挿入方法

計算し田チェックデジットが付加された数値列のデータへの反映方法を選択します。

- ・処理選択項目と置き換える。
- ・処理選択項目の前の項目として挿入する。
- ・処理選択項目の後の項目として挿入する。

の3種類の中から指定します。

⑤ スタート・ストップキャラクターを付加する

「スタート・ストップキャラクターを付加する」チェックボックスをチェックし、それぞれの挿入する文字を「A~D」の中から選択します。

選択コンボボックスでは、選択する英文字は大文字となっていますが、「英文字を小文字にする」チェックボックスにチェックを入れることで、小文字にすることが可能となります。ただし、スタートキャラクターを大文字（小文字）にし、ストップキャラクターを小文字（大文字）にするということはありません。

⑥ 出力文字エンコード

処理結果のデータをファイルに書き出す場合の、文字エンコーディングを指定します。

指定できるエンコーディングは、「Shift-JIS, UNICODE, UTF-8」のいずれかになります。

⑦ データ保存

編集が終了したデータは、ファイルに保存することができます。ファイルの保存には、CSV ファイルへの保存と Excel ファイルへの保存が可能です。

CSV ファイルに保存する場合には、「ファイルメニュー」より、上書きする「保存」または新規に作成する「別名で保存」とのどちらかを選択して保存します。いずれも UNICODE エンコーディングでの保存となります。

保存した CSV ファイルは、通常の行列形式に変換されています。

Excel 形式で保存する場合には、「EXCEL ファイル書き出し」を選択して保存します。この場合にも、保存したファイルでは、データは通常の行列形式に変換されています。

⑧ 実行

「実行」ボタンをクリックすると保存ファイルを設定するダイアログが表示されますので、適宜指定し、実行を開始します。

⑨ 終了

「終了」ボタンをクリックし、プログラムを終了します。

5. 更新履歴

Ver1.0	2011年12月10日	新規作成
Ver2.1	2021年8月23日	モジュラス10ウエイト2-1分割（ルーンズ） バグ修正

6. 免責

本プログラムを使用して生じたいかなる損害についても、弊社は、その責を免れるものとします。本プログラムをご使用になる場合には、この免責事項をご了承したものといたします。

7. 著作権

本プログラム及びプログラムに付帯するドキュメント及びデータのすべての著作権は、有限会社スパイシーソフトにあります。

本プログラムは、無償でのご使用を認める、フリーウェアソフトですが、著作権を放棄するものではありません。

本プログラムのリバースエンジニアリングを禁止いたします。

8. その他

本プログラムの配布は、自由に行っていただいてもかまいませんが、配布に際しては、すべてのファイルを含んだものとして行わなければなりません。一部分のみでの配布が行わないでください。

本プログラムに関する、いかなる問い合わせにもお答えいたしかねます。ただし、バグ及び私用上の改善要求などに関しましては、メールにてご報告いただければ幸いです。即時の対応は難しいですが、逐次、改善してまいります。

2021年8月23日

2011年12月10日

有限会社スパイシーソフト

〒143-0011 東京都大田区大森本町1-8-12-S104

URL: <https://www.spicy-inc.jp>

Mail: info@@spicy-inc.jp

(メールをご利用の場合には、余分な@を削除してください)